

II. 海外経済

		7月月例	8月月例
世界経済		<p>世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直している。先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、<u>感染の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</u></p>	<p>世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、<u>一部で依然として厳しい状況にあるが、持ち直している。</u>先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、<u>一部地域を中心とした感染の再拡大によるリスクに留意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</u></p>
アメリカ		<p>アメリカでは、景気は<u>依然として厳しい状況にあるが、着実に持ち直している。</u>先行きについては、着実な持ち直しが続くことが期待される。ただし、国内外の感染の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>	<p>アメリカでは、景気は着実に持ち直している。先行きについては、着実な持ち直しが続くことが期待される。ただし、国内外の感染の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>
アジア地域	中国	<p>中国では、景気は緩やかに回復している。先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、国内外の感染の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>	<p>中国では、景気は緩やかに回復している。先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、国内外の感染の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>
	その他アジア	<p>韓国では、景気は持ち直している。台湾では、景気は回復している。インドネシアでは、景気は厳しい状況にあるが、<u>持ち直しの動きがみられる。</u>タイでは、景気は厳しい状況にあるが、<u>下げ止まっている。</u>インドでは、景気は厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。<u>ただし、足下の感染の再拡大が経済活動に与える影響によっては、景気が下振れするリスクがある。</u></p>	<p>韓国では、景気は持ち直している。台湾では、景気は回復している。インドネシアでは、景気は厳しい状況にある<u>なかで、感染の再拡大により、足下で景気は下押しされている。</u>タイでは、景気は厳しい状況にある<u>なかで、感染の再拡大により、足下で景気は下押しされている。</u>インドでは、景気は厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。</p>
ヨーロッパ地域	ユーロ圏	<p>ユーロ圏では、景気は依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。ドイツにおいても、景気は依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。先行きについては、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、圏内外の感染の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>	<p>ユーロ圏では、景気は依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。ドイツにおいても、景気は依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。先行きについては、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、圏内外の感染の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>
	英国	<p>英国では、景気は依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの<u>動きがみられる。</u>先行きについては、持ち直しの<u>動き</u>が続くことが期待される。ただし、感染の再拡大によるリスクに留意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>	<p>英国では、景気は依然として厳しい状況にあるが、持ち直し<u>している。</u>先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、感染の再拡大によるリスクに留意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>

(注) 下線部は先月から変更した部分。